

アイディア提案書

提案番号	No.22-1-3		
提出年月日	令和4年11月16日	受付年月日	令和4年11月16日
所 属		職名・氏名	
提案件名	チャットツールの全員利用		
提案の要件	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input checked="" type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	全部署		
現状及び問題点	<p>現在、チャットツールは利用者がバラバラで利用の際に送付先の職員が使っているかどうかを調べないといけない。利用していない人にはメールや電話での連絡となり時間にロスが生じている。</p> <p><input type="radio"/>メールのデメリット（なぜチャットツールの方が良いか） お疲れ様ですなどの挨拶文が必要とされ堅苦しいやりとりになる 開封が確認できない（開封通知メッセージ機能はあるが不便） リアルタイムでやりとりするのにタイムラグが生じる</p> <p><input type="radio"/>電話のデメリット 忙しい時に手を止められる（強制的な連絡） ※社員間で禁止している企業もある（堀江貴文は電話をさせない）</p>		
提案の内容	全職員のパソコンにチャットツールをインストールする IP メッセンジャー（岡山県は、ほぼ全職員にインストールされている） ロゴチャット（利用制限があれば役職で仕分け）		
期待される効果	メリット 既読が確認できるので伝え漏れや確認漏れがなくなる メールのような挨拶文が不要になり時間の短縮になる ポップ通知機能（LINEのような通知）で着信がすぐにわかる 短文でやりとりできるのでスムーズなコミュニケーション 電話で時間を奪われない 記録が残り簡単に過去のメッセージを検索できる（早い） グループ発信が簡単 データの転送が早い		

担当課 意見	<p>【デジタル推進課】 IPメッセージャーは、P2P(Peer to Peer)という通信技術を使用したソフトウェアです。P2Pでは、不特定多数の端末がサーバーを介さずに、端末同士で直接データファイルを共有することができます。 P2Pのメリットとしては、通信スピードが速いことや、サーバーがダウンした場合でも端末間の通信が生きていれば使用可能なこと等が挙げられます。しかし、デメリットとして、データの転送を継続的に行うため、ネットワーク帯域が圧迫され、他のアプリケーションによる通信に影響が発生する可能性があることです。このことから、全職員へのIPメッセージャー導入については慎重にならざるを得ません。 また、ロゴチャットについては、1ユーザーごとに利用料が生じるため予算の確保が必要となります。 ただ、チャットツールの有益性については承知していますので、各種チャットツールの研究を進めていきたいと考えます。</p>
-----------	--

【職員提案審査委員会による審査結果】

項目	問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計(総合評定) (26点以上で優秀賞)
点数	3.5点	2.7点	3.1点	3.5点	2.7点	3.3点	3.5点	22.5点

意見	<p style="text-align: right;">優秀賞に至らず</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分自身もIPメッセージャーを使用しており、大変有効なツールと認識しています。また、岡山県庁も大々的に活用しており、登録職員が多すぎて探すのにかなり苦勞する程の状態です。 ただ、担当課意見の問題点もあるので、検討もいると思うが、毎日何度もメッセージのやり取りを行うとも思えないので、一度導入してみて、だめなら廃止という方法もあるのではと思います。 ●確かにチャットツールは便利です。今は有益と見込んだ職員がインストールして使用しており、そこに制限はかけていないはずですが。有益さをアピールすることで、受動ではなく、能動的な利用促進が最善ではないでしょうか。ただ単に配布(インストール)しても、結局使用する人の利用加減でツールの有効性も発揮されます。 ●デジタル推進課の回答がすべてだと思います。今後、全職員にタブレット配布などの時代がくれば、また違う手法が生まれるかと思います。 ●IPメッセージャーが全職員で使えれば良いのですが、同じようなツールがあれば、実現可能かと思います。 ●電話だと手を止められてしまい外線にでることも不可能になるため、チャットの導入は良いことだと思う。 ●確かに便利なツールですが、「現状及び問題点」にあるメールのデメリットに挙げられている”堅苦しいやりとり”とありますが、チャットツールにおいても同じことではないかと思います。また、私用のスマートフォンを利用することへの疑問点はありますが、既に職員間では、LINEグループによる連絡網(係・課・部単位など)が存在しており運用されているものと思います。改めて、チャットツールを導入する必要性が感じられません。 ●市民からの問い合わせ等緊急性の高いものは電話、課で共有したほうがよい内容(担当者不在時も対応が必要なもの)は共有メール、とある程度ルールは必要に思うが、それ以外についてはチャットの利用促進は進めてよいと思う。 ●導入すべきだが、ネットワークのスペックや予算面が問題であると感じた。しかし、ネットワークのスペック不足は想定されるということにとどまるのなら検証すべきではないか。
----	---